

	前回（2022年4月判断）	2022年7月判断	前回との比較*
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響から下押し圧力が強い状態にあり、持ち直しの動きが一服している	<u>新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、緩やかに持ち直している</u>	↗
東北	持ち直しの動きが一服している	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗
北陸	持ち直しの動きが一服している	<u>基調としては持ち直している</u>	↗
関東甲信越	感染症の影響などから弱い動きがみられるものの、基調としては持ち直している	<u>供給制約の影響が強まっているものの、個人消費への感染症の影響が和らぐもとで、基調としては持ち直している</u>	⇒
東海	持ち直しの動きが一服している	持ち直しの動きが一服している	⇒
近畿	消費への新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、全体として持ち直し基調にある	<u>中国におけるロックダウン等の影響が残るものの、消費への感染症の影響が和らぐもとで、全体として持ち直している</u>	↗
中国	サービス消費を中心に下押し圧力が続いているものの、緩やかな持ち直し基調にある	<u>下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直している</u>	↗
四国	緩やかに持ち直しているものの、一部に新型コロナウイルス感染症等による下押しの影響がみられる	<u>一部に供給制約の影響がみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している</u>	↗
九州・沖縄	持ち直しのペースが鈍化している	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗

\*前回との比較の↗、⇒は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いの変化を示し、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、⇒となる。

[日本銀行 地域経済報告](#)